

令和4年度 学校教育自己診断 結果

2学期末に生徒・保護者を対象に「学校教育自己診断」を行いました。その集計結果等をお知らせします。

【生徒回答】

	診 断 内 容	R4肯定的回答	前年比	前年	R2
1	学校へ行くのが楽しい。	81%	—	82%	80%
2	少人数の授業や、関心のある選択授業がある。	92%	—	92%	91%
3	授業内容に興味・関心をもつことができている。	88%	—	90%	84%
4	学校生活についての先生の指導は適切である。	84%	—	87%	80%
5	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	85%	↑	78%	76%
6	先生は、いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	89%	—	89%	83%
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	91%	—	90%	83%
8	授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。	93%	—		
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	84%	↓	93%	79%
10	将来の進路や生き方について考える機会がある。	91%	—	94%	91%
11	進路実現に向けて、進学や就職など適切な指導が行われている。	92%	—	92%	91%
12	この学校には、他の学校にない特色がある。	99%	—	99%	99%
13	体育祭、文化祭などの学校行事は楽しく充実している。	86%	—	83%	83%
14	部活動や生徒会活動が盛んである。	91%	—	94%	87%
15	高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	91%	—	91%	89%
16	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、相談することができる先生がいる。	80%	↑	73%	73%
17	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。	78%	↑	72%	79%
18	学校の施設や設備については満足している。	86%	—	89%	78%
19	地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。	73%	↑	66%	66%
20	海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。	61%	↑	44%	57%

※前年比3%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

昨年度から、回答をWEBのみで実施したため、回答数は48%となっている。

まず、前年比で向上した(5%以上)項目は、5つ。その中で「16 担任の先生以外にも保健室や相談室等で、相談することができる先生がいる。」については、本校の教育相談が少しずつ生徒に浸透していると感じることができた。本年度よりスクールカウンセラーの来校日を増やしたこともその一要因ではないかと思われる。「17 学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。」は6ポイント増であった。これは、3年ぶりに避難訓練を実施することができたからだろうと思われる。「19 地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。」についても、コロナの影響で実施できなかった地域連携が今年度は実施できたことに起因するものと思われる。このようにコロナ禍で奪われていた教育活動や行事が戻ってくることで回復した数字も多く見られた。

一方で唯一大きく低下した(9%)項目は、「9 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」である。この項目が減少した原因を読み解くことはできないが、理由がどうあれ、HR等の取組内容の改善や高校生活での生徒たちへのアプローチの工夫など、教職員一人ひとりが意識しながら行動するよう促していきたいと思っている。

【保護者回答】

	診 断 内 容	R4 肯定的回答	前年比	R3	R2
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	89%	↑	85%	85%
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	86%	↑	72%	70%
3	この学校には、他の学校にない特色がある。	99%	—	98%	98%
4	学校での友達関係はうまくいっている。	95%	↑	91%	90%
5	学校は、教育情報について、情報提供の努力をしている。	88%	↑	84%	80%
6	学校の生徒指導の方針に共感できる。	89%	—	89%	83%
7	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	90%	—	87%	78%
8	学校は、授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。	91%			
9	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	95%	—	92%	84%
10	個人の悩みや、抱えるものについて、適切にアドバイスし、対応してくれる先生がいる。	90%	↑	85%	81%
11	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。	96%	—	96%	81%
12	将来の進路や生き方について考える機会がある。	90%	—	91%	91%
13	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	92%	—	94%	89%
14	体育祭や文化祭などの学校行事は、活発に行われている。	93%	↑	82%	95%
15	子どもは、高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	89%	—	89%	83%
16	地域(住之江区)や大学等との交流は盛んである。	79%	↑	73%	76%
17	学校は、海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。	68%	↑	34%	71%
18	学校の施設や設備については満足している。	93%	—	92%	88%
19	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	88%	↑	71%	78%
20	子どもをこの学校に入学させて良かった。	97%	—	95%	95%

※前年比3%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

多くの項目で昨年度よりポイントが上回る結果となった。コロナで止まっていた教育活動が動き出し、保護者の皆さんが学校行事に参加できるようになったこと、PTA活動も以前の活気を取り戻し「社会見学」や「文化講座」など独自のPTA活動が再開したことが要因であることは間違いなさそうである。

この数字に満足することなく、さらに保護者のニーズに応じていく学校をめざし、次年度に向け、さらに改善を進めていきたいと思う。

【教職員回答】

	診 断 内 容	R4 肯定的回答	前年比	R3	R2
1	学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	94%	—	88%	87%
2	生徒に対して、わかりやすく興味・関心を引く授業を行っている。	100%	—	94%	98%
3	補習や講習等を通じて、学力向上(実技力向上)に努めている。	94%	↑	77%	84%
4	ICT(情報機器等)を教育活動の中で活用している。	89%	↑	77%	62%
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	78%	↓	88%	69%
6	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	89%	—	88%	87%
7	学校全体として、生徒・保護者の相談に適切に対応している。	100%	—	100%	89%
8	生徒の個人情報を守る管理システムが確立できている。	94%	↑	77%	84%
9	体育祭、文化祭、修学旅行などの学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう工夫・改善を行っている。	89%	—	94%	84%
10	部活動を通じて、生徒が学校生活において充実感が得られる工夫がある。	78%	↓	94%	89%
11	国際感覚を養う国際交流について学ぶ機会を多く設定している。	33%	↓	41%	40%
12	教育活動の中で、平和、社会のルール、人権の尊重、生命の大切さなどについて学ぶ態度を育てている。	61%	↓	76%	66%
13	生徒一人ひとりの進路希望に応じて、きめ細かい指導を行っている。	83%	↓	100%	82%
14	教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員等とも相談することができる。	94%	—	94%	87%
15	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており迅速に対応することができる。	83%	—	77%	82%
16	緊急の事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、危機管理体制ができている。	72%	↓	88%	76%
17	施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	83%	↓	94%	68%
18	この学校には、他の学校にない特色がある。	100%	—	100%	98%
19	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者への周知に努めている。	94%	—	100%	87%
20	高大連携、地域との交流の機会が教育活動に生かされている。	89%	↑	82%	66%

※前年比7%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

回答率(18/45)は昨年同様に低く、経年変化を正確に分析することが困難であった。1回答で5%以上の差が生じる%表示は意味のないように思われる。次年度から何らかの工夫により回答率を回復したいと思っている。

まず、前年比で向上した(7%以上)のは、4項目。「3 補習や講習等を通じて、学力向上(実技力向上)に努めている。」「4 ICT(情報機器等)を教育活動の中で活用している。」「8 生徒の個人情報を守る管理システムが確立できている。」「20 高大連携、地域との交流の機会が教育活動に生かされている。」であった。8については、府立高校で頻繁に話題になっていることから日頃気にかけている項目となっているのではないだろうか。

逆に下降したのは「5 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」「10 部活動を通じて、生徒が学校生活において充実感が得られる工夫がある。」「11 国際感覚を養う国際交流について学ぶ機会を多く設定している。」「12 教育活動の中で、平和、社会のルール、人権の尊重、生命の大切さなどについて学ぶ態度を育てている。」「13 生徒一人ひとりの進路希望に応じて、きめ細かい指導を行っている。」「16 緊急の事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、危機管理体制ができている。」「17 施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。」の7項目。

今回は下降の項目が上回っている。3年間に及ぶコロナによる教育活動の停滞によるものが主な原因かと思われる。先生方が自ら反省すべき点を挙げていることから、今後のさらなる改善を期待したいところである。